



## ボランティア登録者にインタビューしました!!



令和5年4月にひろさきボランティアセンターにボランティア登録した、ベトナム人の TRAN QUOC TRUNG(チャン クオック チュン)さんにお話を伺いました。チュンさんには、これまでいろいろなボランティアに参加していただいています。

- ・ボランティアをやってみようと思った理由は？

将来、家族を日本に連れてきたいと考えていて、そのためにも、ボランティア活動を通して、日本の文化や日本人の考え方を知って、自分の子どもに教えたいと思っています。

- ・ベトナムでもボランティア活動していた？

活動したことはありますが、そんなに多くないです。

- ・ボランティア活動に関して、ベトナムと日本の違いはありますか。



日本では、例えば活動前に軍手など必要な物を準備したりしますが、ベトナムではそのようなことはありませんでした。

- ・一番楽しかった(面白かった)ボランティアは何ですか。

おもちゃを修理するおもちゃ病院のボランティア。いろんなおもちゃを見ることができ、実際に直すのを手伝うことができました。ベトナムのおもちゃはプラスチック製が多いですが、日本のおもちゃは木製のものが多く、安全面に気を使っていて興味深かったです。

- ・ボランティアをやってみて感じたことを教えてください。



日本人の考え方を学ぶことができました。今後は、災害ボランティアをはじめ、もっといろんな活動に参加したいと思っています。

TRAN QUOC TRUNG(チャン クオック チュン)さん



弘前図書館での一日体験ボランティアの様子



## ボランティア協働推進事業

「エコステーション in 菊と紅葉まつり」取材しました！



※ボランティア協働推進事業とは

弘前市では、市役所だけでなく、町会、NPO、学生、ボランティアなどがみんなで協力し合いまちづくりを行う「協働のまちづくり」を進めています。協働のまちづくりには、お互いを理解し合うことが不可欠で、市の取組を皆さんに知ってもらうことが大切になります。

そこで、ひろさきボランティアセンターでは、ボランティア体験を通して、若い世代に市の取組への理解を深めてもらうことを目的に、『ボランティア協働推進事業』を行っています。

今回は、弘前城菊と紅葉まつりで行われた当事業の様子を、弘前の魅力を発信する「弘前ぐらし市民ライター」の方に取材していただきました。

こんにちは！弘前ぐらし市民ライターの黒岩唯です！

弘前に移住して3年目ですが、毎日が新鮮で楽しい毎日を過ごしています。

現在約20名の市民ライターとともに、弘前のいいところ、紹介したいこと、イベント参加レポートなどを取材し、記事にする活動をしています！

### ●エコステーションの取り組みを取材！

今回取材したのは、「弘前城菊と紅葉まつり」でのボランティア活動。

弘前公園内に開設されたエコステーションを訪れると、学生ボランティアの皆さんが、市の職員とともに、エコステーションにごみを捨てに来た人に分別の協力を呼びかけていました。

### ●なぜ分別を行うのか

みなさんは、祭り会場で山盛りになっているごみ捨て場を見たことはありませんか？ごみを捨てる場所があっても、正しい分別ができないとリサイクル率も悪くなり、景観を汚すことにもつながってしまいます。

現在弘前市を含む青森県はごみの排出量が多く、リサイクル率が全国的に見ても低いことが課題のひとつとなっています。中でも事業系ごみの排出量が非常に多いため、祭りやイベントで出されるごみの分別に取り組んでいるのです。

### ●祭りに訪れた人が気持ちよく過ごせる取り組み

エコステーションでは、人が必ず常駐しているのでこまめに管理ができ、イベント会場の景観も汚しません。ボランティアは、ごみ箱の袋がいっぱいになったらすぐに新しい袋と交換し、ごみの散乱を未然に防ぎます。

中には「エコステーションを初めて見た！」「すごくいいね」と話す人もおり、弘前市の取り組みに関心を持っていただけたという感触もありました。

## ボランティアに参加した学生たちの声を聞きました！

学校の掲示板に貼ってあるチラシを見て参加しました。就職の面接に役立つし、社会に出たらコミュニケーション能力も必要なので、一度は経験しておこうかなと。ボランティア活動はとても楽しく、職員の方も一緒なので安心でした。環境問題に対する考え方も変わりました！

(弘前工業高校電気科 澤田さん)

友だちと「ボランティアしたいね」って話していて、今回このボランティアを見つけて応募しました。最初は不安だったんですけど、体験してみたらすごく楽しかったし、同時に弘前のことも知れたので、参加してよかったです。

(聖愛高校3年 宮川さん)

将来は小学校の教員として働きたいと、地域のことをもっと知りたいと思い参加しました。祭りは毎年来ているんですが、運営側に立つのは初めてだったので、いろんなことを学んだし、分別の大切さにも気づけました。

(聖愛高校3年 吉村さん)

私は JRC(青少年赤十字)に入っていて、そこでボランティア活動に興味を持ちました。学校で募集しているのを見て、友だちを誘って参加しました。エコステーションのボランティアは初めてなんですけど、また機会があったら参加したいです！

(東奥義塾高校2年 JRC 齋藤さん)

今回友だちと参加して、自分のためにもなったし、弘前のためにもなったと思います。ごみ分別の活動は見たことはあるんですけど、実際どうしているのか知らなかったの、いい経験でした。参加してよかったです。

(東奥義塾高等学校2年 相馬さん)



### ●取材を通して

行政、議会、市民が協力し合いながら住みよい場所にしていく「協働のまちづくり」では、たくさんの市民が関わってはじめて成り立ちます。今回取材したエコステーションでは、弘前市の取り組みに関心を持った学生ボランティアも多いと感じ、とてもうれしい気持ちになりました。

身近なことや、自分が得意とするものに触れることで、地域とのつながりが増え、弘前の暮らしがもっとよくなる。協働のまちづくりは、「自分が住み続けたい街をつくること」でもあるのかなと感じました。



# 令和 5 年度市民協働交流まつり開催のお知らせ



令和6年2月23日（金・祝） 市民協働交流まつりを開催！

市民参画センターやひろさきボランティアセンターに登録している団体が、自分たちの活動の発表や交流などを行うイベントです。舞台発表、展示、体験、販売をヒロロ3階、4階を会場におこないます。皆様のお越しをお待ちしております。



日時 令和6年2月23日 金曜日（祝日）

午前10時30分から午後2時30分まで

会場 展示、体験、販売、学生コーナー…ヒロロスクエア内（ヒロロ3階）  
発表・・・・・・・・・・市民文化交流館ホール（ヒロロ4階）  
（同日午後2時から 協働まちづくりフォーラムも開催されます。）

展示については、2月24日から3月4日まで延長して行います。当日おいでになれない方も、多くのグループの活動の様子をご覧ください。ぜひご来場ください！

昨年開催の様子



## 豆知識



節分と言えば豆まき。本来は大豆をまいていましたが、近年は手ごろでまいた後に食べやすい落花生を見かけることが多くなりました。

マメ科の中でも少し面白い植物で、花が咲き落花するとそのツルが地中に伸び、その後土の中でサヤを作るため、落花生という名前になっています。

15℃を超える気温であれば育つので当地でも栽培することは可能。落花生に含まれる栄養素は非常に高く、中でも脂質はオレイン酸や不飽和脂肪酸などが含まれ、生活習慣病予防や悪玉コレステロールを抑制する働きがあります。

市販されているものは大抵乾燥した物ですが、生の落花生を茹でていただくのもおいしく、調理の仕方としては、塩を入れた水からゆで始めて40分から1時間ほどゆでて、好みの硬さに調整。時間がかりすぎるといっているのであれば圧力なべを使えば10分ほどでゆであがります。

比較的作りやすい作物でもありますので来年の節分は自前の落花生を目指してみてもいいのでは？



<制作>市民ボランティアスタッフ <制作協力>ひろさきボランティアセンター  
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F ヒロロスクエア内  
TEL:38-5595 FAX:36-1822 H P:www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。